

防災訓練に参加して

旧広田町内会長

村山 勝治

十月一日午前八時三十分市の広報が北条地内全域に震度六の地震が発生したことを伝えた。ガスと電気の元栓をすぐ切り、集落の避難所に避難する。ガスや電気元栓を切ることは、第二の災害を防ぐ大切な行動である。

午前九時三十分、地区災害対策本部のある北条中学校へ移動する。市の消防署による消火訓練、倒壊家屋の中に閉じ込められた被災者を救出する自衛隊による救出訓練等多彩なプログラムの中、終了したが、大変良い体験をさせていただいた。

地域の生命・財産は地域の強力な協力体制によって守られるのであり、一人ひとりの自覚が大切である。災害は忘れた頃にやってくる。



集落から移動

北中二年生 濁川 優太
僕が一番印象に残った訓練ははしご車による降下訓練です。30mの高さまで延ばしたはしごから一本のロープに伝わり降りてくるので、少し間違えば命に関わります。消防署の人たちは常に命をかけて火と戦っているのだと思います。



多量保護者受け入れ訓練

炊き出しに使用した米は90kg
自衛隊さんが60kg、地元が30kgを炊きました

動員避難者150名/一般避難者210名
小・中学校児童生徒 教職員 268名



南小六年生 五十嵐 恭兵
防災訓練では三三消防車に乗り、サイレンの音を出す役になりました。サイレンはレバーを回すと出るので思い切りまわしました。すると、すごく大きな音がしました。災害が起きた時には、身の安全を一番にして、落ち着いて行動したいです。



消防署と消防団の放水訓練



スタッフ

関エンジニアリングの社長さんから解体する家屋の一部を提供していただき、運搬、組み立て、解体、運搬、処分と一連の大作業をお願いしました。組み立てと解体には商工会建築部会の皆さまにご協力いただきました。新築はお手のものが倒壊家屋の建築には棟梁たちもまいったね。

自衛隊	20名
消防署	31名
地元消防団	49名
商工会	10名
炊き出し	33名
交通安全協会	6名
市/コミュニティ	70名



すばらしい倒壊家屋？